

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出
- ◆北朝鮮の核実験に対し抗議文を送付
- ◆イランの加盟都市数が800を突破
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 6,965自治体

\*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====  
**◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出**  
[2015年12月24日]

第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会での決定に基づき、12月24日、松井広島市長（平和首長会議会長）と大久保長崎市原爆資料館次長兼平和推進課長が外務省を訪問し、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進について、内閣総理大臣宛ての要請文を岸田外務大臣へ提出しました。また、併せて第9回平和首長会議理事会で採択された決議文についても手渡しました。

岸田外務大臣は「平和首長会議、広島市、長崎市の皆様の思いは、私自身、しっかりと受け止めさせてください。核兵器廃絶に向けては、核兵器国と非核兵器国の双方が協力しないと前に進まない。日本政府は、唯一の被爆国として、核兵器国と非核兵器国の橋渡し役として主導的な役割を果たしていきたい。」と述べられました。

▼関連記事（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/151224\\_jp/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/151224_jp/index.html)

▼要請文（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/151224\\_jp/request\\_151224.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/151224_jp/request_151224.pdf)

▼第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催結果について（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/jpmeeting/5th/index.html>

=====  
**◆北朝鮮の核実験に対し抗議文を送付**

[1月6日]

=====

1月6日、朝鮮民主主義人民共和国が核実験を実施したことに対し、平和首長会議として、同国の金正恩国防委員会第一委員長に抗議文を送付しました。

▼抗議文（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/protest/160106\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/protest/160106_jp.pdf)（日本語）

[http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/statement/protest/160106\\_en.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/statement/protest/160106_en.pdf)（英語）

=====

### ◆イランの加盟都市数が800を突破

=====

2016年1月1日現在で、イランにおける加盟都市数が812となっています。2014年・2015年の2年間で700都市以上が加盟し、同期間内の増加率は全加盟国中最大となっています。

イランにおけるこの大幅な加盟都市増加は、首都テヘランにある「テヘラン平和博物館」がイランの全市長に連絡を取り、地道に平和首長会議への加盟を要請したことによるものです。

現在、イランにおける加盟都市数は、日本に次いで第2位となっています。

▼記事全文（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/memberscity/2016/Iran/800members.html>

=====

### ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第15回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

被爆71年の2016年が始まりました。広島市では4月に外相会合が開かれ、核兵器を保有する米国や英国、フランスの3カ国の外務大臣が初めて被爆地を訪れます。ぜひ原爆資料館を見学して被爆者の証言に耳を傾け、核兵器が人間や街をどれほど破壊するか、理解を深めてもらいたいものです。ヒロシマの象徴となった原爆ドームは、12月に世界遺産登録から20年の節目を迎えます。一方で、年明け間もなく、北朝鮮が「水爆」実験を強行しました。核兵器がいかに非人道的か、世界に伝えていくヒロシマの責任は今年も変わりません。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○参加国首脳は被爆地訪問を 伊勢志摩サミット 広島・長崎市長 大使館に要請

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=54970>

○「断固反対」と非難 被団協 原子力協定 日印が合意

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=54797>

○北朝鮮 なぜ核に頼る 被爆者、暴挙に怒り 広島知事・市長も抗議

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=55307>

○ドーム初の耐震工事 広島市開始 れんが壁3カ所補強

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=54598>

○被爆地訪問は「強烈な経験」 ケネディ大使

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=54759>

（ヒロシマ平和メディアセンター提供）

=====

### ◆加盟都市の活動紹介

=====

-----  
\*明石市（兵庫県）

平和啓発事業の報告

-----

明石市で実施された「戦後70周年平和祈念事業」等の平和啓発事業について報告が届いています。

▼明石市の平和啓発事業（明石市ウェブサイト）

[http://www.city.akashi.lg.jp/community/jinken\\_ka/jinken/documents/documents/heiwa/heiwa-index.html](http://www.city.akashi.lg.jp/community/jinken_ka/jinken/documents/documents/heiwa/heiwa-index.html)

-----  
\*マンチェスター市（英国）

「非核都市宣言 35 周年記念行事」を開催

-----  
2015 年 12 月 4 日、平和首長会議副会長都市であり、英国・アイルランド地域のリーダー都市であるマンチェスター市において、同市の「非核都市宣言」35 周年を記念する行事が行われ、主催者であるマンチェスター市のポール・マーフィー市長を始め、同市議会議員、英国国会議員、欧州連合関係者、NGO 関係者等が出席しました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Manchester/NFLA\\_35th\\_anniversary.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Manchester/NFLA_35th_anniversary.html)

-----  
\*ウェリントン市（ニュージーランド）

平和ニューズレター第一号を発行

-----  
2015 年 12 月、平和首長会議リーダー都市であるウェリントン市は、同市が 2015 年中に実施した平和関連行事や、市長のメッセージ等を掲載したニューズレター「ピース・イン・ウェリントン」を発行しました。

▼ニューズレター「ピース・イン・ウェリントン」第一号（英語）：

<http://us12.campaign-archive2.com/?u=070b38357bba2a9dad3c2e8f9&id=f6bcb5a178&e=de3959e37e>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

各加盟都市で実施された被爆 70 周年行事及び国際平和デー記念行事に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼被爆 70 周年記念事業実施都市一覧（1 月 15 日現在）（平和首長会議ウェブサイト）

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/70th\\_anniversary/List\\_of\\_commemorative\\_events\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/70th_anniversary/List_of_commemorative_events_J.pdf)

=====  
**◆平和首長会議情報システム稼働のご案内**

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築しました。このシステムを利用することで、加盟自治体の情報検索、各自治体の情報更新等が可能となります。貴自治体の情報を最新のものに更新していただくとともに、平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただきますようお願い申し上げます。なお、システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方はログインしてみてください。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご不明点等は、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email: mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

**◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします**

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、今年度から 1 都市当たり年額 2,000 円の負担をお願いすることとなりました。

加盟自治体の皆様へは、本年 5 月 12 日付けの E メールで当該制度開始の案内を送付し、7 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。7 月 1 日付けで送付した請求書の納付期限は 9 月 30 日（水）となっておりますが、まだ、納付していただけていない自治体の皆様におかれましては、1 月 29 日（金）までに納付していただきますようお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない都市があったとしても、その都市に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

納付金の納付が困難な場合は、その旨、事務局まで御連絡くださいますようお願いいたします。皆様の御協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内**

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**

=====

平和首長会議では、第 8 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

**◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！**

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2016年1月1日現在、2,225,614筆の署名が集まっています。  
今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。  
(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆**平和首長会議加盟都市数：161カ国・地域 6,965自治体**

=====

皆様のご理解とご協力により、今月25自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は1月1日現在で6,965自治体(161カ国・地域)となりました。

日本国内では、静岡県牧之原市等3自治体(1市2町)が加盟し、国内加盟都市数は1,610都市(加盟率92.5%)となりました。

海外については、イランから20都市、ジョージアとドイツから各1都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願ひします。

▼1月1日付新規加盟都市一覧

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1601\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1601_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ、連絡先変更等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp